

■「レコフ M&A データベース」操作のワンポイントアドバイス

【第 67 回】『銀行同士の M&A を振り返る』

2015 年も銀行業界再編の M&A の発表がありました。横浜銀行と東日本銀行の経営統合発表以来、一層注視されていた常陽銀行と足利ホールディングスの経営統合、東京都が 84.22%出資する新銀行東京の東京 TY フィナンシャルグループによる買収、大正銀行が三菱 UFJ フィナンシャル・グループを離れ、トモニホールディングスの一員となる買収などがあげられます。ここではバブル崩壊後の 1996 年以降の銀行同士の M&A について見てみます。

【検索条件指定】画面

1. ■データ種別を「M&A」、■検索期間(ここでは 1996/01/01~2015/11/30)、■形態で買収、■業種の「指定」ボタンをクリックし、当事者 1 と 2 ともに「銀行」を選択。画面右上の「データ集計」ボタンをクリック。

①ここを選択

②黄色部分を変更入力、またはカレンダーで選択

③ここをクリック

④クリック後に現れる画面で当事者 1,2 のボックスに☑ともに「銀行」を選択

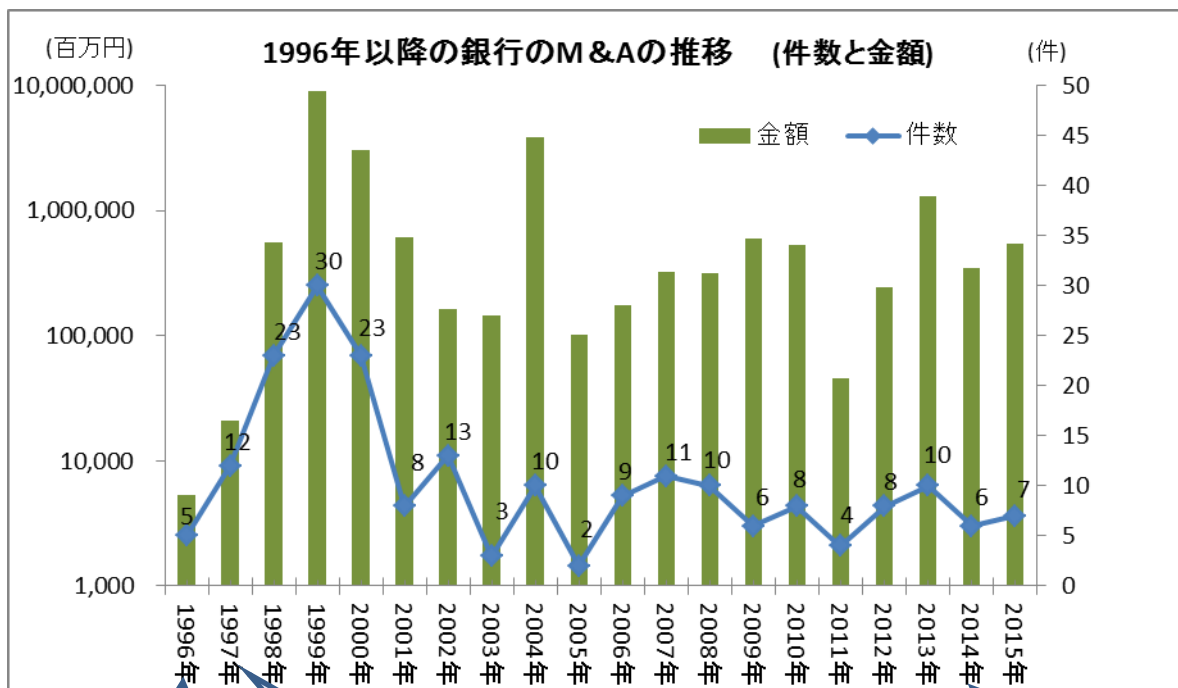
⑤ここをクリック

【集計条件指定】画面

2. ■「集計内容」で「マーケット別」、■「集計単位」で「件数」、■期間区分で「年別」を選択し、「集計表示」ボタンをクリック

黄色部分を選択して集計条件を設定

3. エクセルで加工(次ページへ)



日本版ビッグバン

持株会社解禁

日本経済再生本部
「日本再生」ビジョン発表

かつて預金取扱い金融機関の数が多過ぎるといふ「オーバーバンキング」状態だった銀行業界はバブル経済崩壊による債権の不良化、金融ビッグバンの影響、金融持株会社の解禁などを経て、まず大手銀行が統合し 2006 年三菱東京 UFJ 銀行の設立により 3 メガバンク (三井住友銀行・三菱東京 UFJ 銀行・みずほ銀行) に落ち着きました。その後の地銀の再編は殖産銀行と荘内銀行の合併解消や、現・筑波銀行 (旧関東つくば銀行と旧茨城銀行) の合併時に訴訟問題に発展した経緯など、難しい局面もありました。しかし 2014 年に発表された自民党・日本経済再生本部「日本再生」ビジョンでは「各地域金融機関が自らの適切な経営判断の中で、…中略… 地域金融機関が再編を検討していくことも有力な選択肢のひとつと思われる」と明記され、金融庁も経営統合を後押ししています。実際、14 年の鹿児島・肥後銀行、横浜・東日本銀行などいわゆるトップ銀行による経営統合も発表され、各地方金融機関にも影響がありそうです。